

(1) 1975年7月15日 热血のコマンド

热血青年

明治当局一国家権力の 強弾圧体制暴露する

723

東洋の絶大起

VOL.2, NO.3
編集発行
明大レーニン
主義研究会

千代田区
神田駿河町
101
明治二通

10月

田人画、田舎風の筆致で、
九一十四、「田舎風の筆致」の下に
ナーナ画、海津博義作にて

卷之三

三

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）

(2)

ପ୍ରତିକାଳିତି

本の書籍の中でも、最も注目されるべきは、『新編和漢集解』である。この書は、元治元年（1864）に、西郷隆盛によって刊行されたもので、その著者は、西郷自身である。この書は、和漢の文化を統合するための試みとして、多くの注目を集めている。
次に、『新編和漢集解』の特徴について述べる。この書は、和漢の文化を統合するための試みとして、多くの注目を集めている。
また、『新編和漢集解』は、西郷の著者として、多くの注目を集めている。
さらに、『新編和漢集解』は、西郷の著者として、多くの注目を集めている。
以上が、『新編和漢集解』の特徴である。

(3) 1975年7月15日 热血のコマンド

1975年7月15日(4)

田舎館解放に向かへ

(2)

（二）「アーヴィングの母」、ジョンソン著、ルイ・アーヴィング著、トマス・ハーパー著、トマス・ハーパー著。

卷之三

「田舎の強化を先取り取れ!」

卷之三

卷之二

1975年3月5日

熱血のスマンド

國語	國語	國語

大衆的視聴文化の変遷
UTTERANCE の変遷
UTTERANCE は、主に以下三種類の現象の運動
によって構成される。それは、
1) 用語・語彙の運動
2) 用法・文法の運動
3) 用意・意味の運動
である。この三種類の運動が、
UTTERANCE の構成要素として、互に連絡され
て、その構造を形成する。この構造は、
正統化「美術・美術」→「アーティスト」→「アーティス

の體の外に於ける事は、實に可い事無し。二つ目は、此の體の外に於ける事無し。二つ目は、此の體の外に於ける事無し。

(8) 1975年7月15日

熱血のコマンド

二十九日の收回の問題である。即ちある人の死因と認識し、全體が異
局一國家権力がわれわれを彈圧して
し、且頭領を解放しないのか、われわ
れが当局一國家権力一体とした反軍
行委の結果をして、「正常化」業務
粉碎の手として、徹底的に手い扱い
て「かまくはなつたうだい。

スローハン

* 三月館一更館東力解行。

＊「正常化」業務紹介？

蘇州方言

二重城の口ひなけ

その一として立ち現れる教育の帝國主義的再編成が、
斗ひどく進んでいます。

卷之三

イエス・キリストの福音傳道の後、世界の文明は
疾・人民は自らの解放を主張し、帝国主義打倒、民族解放
の大戦が起つたが、その上で無二の偉人として
の名前を永くと記せられたのが聖母マリアー母上様

二の激動の今日において、わたしたちが是と未知の
おななげはなうないヨーに三重振舞がありまテ
「高度経済成長」強収奪・強着積政策の始めから、全般
一新金融・日本列島改造の全過程に対して徹頭徹尾斗争と
して異議に斗われてこいます。

1975年7月15日 (10) マコの日

おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。朝食は卵焼きとトマト炒め、朝ごはんはパンと牛乳です。午前中は公園で遊んでいたり、本を読んだりして過ごしました。

午後はお友達と一緒に公園で遊んでいました。

おはようございます。

今日は朝から天気がいいですね。朝食は卵焼きとトマト炒め、朝ごはんはパンと牛乳です。

午前中は公園で遊んでいたり、本を読んだりして過ごしました。

おはようございます。

今日は朝から天気がいいですね。朝食は卵焼きとトマト炒め、朝ごはんはパンと牛乳です。

午前中は公園で遊んでいたり、本を読んだりして過ごしました。

おはようございます。

今日は朝から天気がいいですね。朝食は卵焼きとトマト炒め、朝ごはんはパンと牛乳です。

おはようございます。

今日は朝から天気がいいですね。朝食は卵焼きとトマト炒め、朝ごはんはパンと牛乳です。

おはようございます。

今日は朝から天気がいいですね。朝食は卵焼きとトマト炒め、朝ごはんはパンと牛乳です。

おはようございます。

熱血のコマニチ

(11) 1975年7月15日

帝國主義的由日軍戰勝而告終。沖繩海洋博覽會粉碎了。

昨年以来、日本一の権威を誇るに付けて、少し用事を外れて、米、日安保体制の
の廢止（廃止）と後醍醐天皇の御代行、海軍博長事件
廢止）、新日本銀行、資源賄取へ向むとしてつての後醍醐天皇の生産の
に日本主義体制の建設の任務であった。在東洋銀行（日本銀行）は资源賄取
につかれの日本銀行の黒塗りの権威（權威）と
の組合の賄取が日本銀行の中に及ぶ
る日本民主主義体制の要件としての、シクローバーのアーチャルの。内
閣の内閣閣僚たる立派の元の複雑構造
の内閣閣僚たる立派の元の複雑構造
にのりこじらして支配、収集構造の再

以上の二の側面として、帝国主義相

互の関係において「石油危機」以降、あらわにされた資源をめぐる帝国主義、国際相互の対立、矛盾の、今日、海洋をめぐる分割、再分割の危機を想起してしる。

オート、帝国主義、従属国關係の再編の下でして、これまで地上の植民地、従属国の資源をめぐつていた帝国主義は、更に先端技術の独占を通じて海洋資源とも略取せんとしている。更上の一歩として大量の海底資源の市場への流れが後進国の資源経済を破壊し、一層紛糾化のための道をつくづくだすことである。

オート、軍事的領域において、自然の要塞、要塞としての海洋、島嶼、軍事的観察から利用、開拓する」とであ

る。

今日、沖縄海拠を契機として帝国主義の野望は一挙におこすものからよつてしまつ、「まだ分割されてこない世界の土地の最後の一寸の」「争いは激化し、北海油田の「」は没落帝国主義英國」希望たゞれ、東シナ海をめぐる日本帝の野望は米帝を背景に「韓」、「印」、中国を牽引」つづれの諸國との間で一触即発の状態を作り出しその上に「尖閣列島」領有企画もまたの東シナ海海底油田の略取を伏線として展望をわけしたわけである。

沖縄、スマ

更に大陸棚油田をはじめ太平洋東海岸の「シタントジール」（シタント）を主体二十数種の金属を含む資源の複合物）は、米・日獨「資本を主体とす

る

る先端技術を「」に開發をすめられ、太平洋を境の他の諸国は一切排除されてくる。されど、海洋資源開拓は、米帝を主導し、日本が協力者の地位において人類の未来をきづひらいで行くとして、美濃のこと」、資源の保有を武器として決起した後進諸国民の士気などを行なうことで、かつ一層の従属化を強制する反人道的、反革命的性格をもつたのである。

太陽頭として、太平洋、インド洋、東シナ海の島嶼を不況地帯として実路線系の一團を形成し、また漁港の集積地帯を造成して整備を図つたのである。

(3) 1975年1月15日 横の血の日の戦

マヤドス、那事件は(うした戦略機能の発動であり、沖縄東南アジア地域にかけてる都市の出撃拠点となつてゐる証據を示すものである。したがつて、われわれは、海洋が今日の帝国主義の資源を奪取戦争の場所の舞台となりつつあることに認識し、帝国主義的海洋分割へのヤレモニー(海洋博の徹底的粉碎)阻止斗争に邁進、決起します。

義の海洋分割、独立を許さず、一切を封するのみの帝国主義的尼羅を破壊するのみが、非主義への道です。

アーバン戦争準備、沖縄海洋博

粉砕セントロ。

海洋博開催(主)とする沖縄の復興前進基盤化を一挙全面的に推進されて

いる。日本安保の具体化による島路反撃軍として沖縄は、「ナミモ」(日本帝國主義の毒矢)として用いられる。数後二八年にわたる米帝支配下の「返還」(大・米西帝國主義)による収奪・被取の犠牲(おもねえら)としている。返還表明後たしかに「うちだ」とされた海洋博構想は、本格経済へよりの脱却、産業振興(ひきめい)とは、ついでこのままの状況を沖縄においていたそれが再び開始され、沖縄地場産業の中核としての島嶼はまたくまに解体されてしまう。貿易・通商、金融、公害企業本土資本の侵略は一齊に雨

義の海洋分割、独立を許さず、一切を封するのみの帝国主義的尼羅を破壊するのみが、非主義への道です。

アーバン戦争準備、沖縄海洋博

粉砕セントロ。

是役也。朱、田、朱共同作戰

天一ノ

（三）反用
（二）不
（一）止
（六）戰
（七）強
（八）衛
（九）軍
（十）米

内保紛糾・日帝打倒・沖縄解放の頂點
として、歴史民族・人民と連繋し、而
國主義の海洋軍事戦争の危機を撃退へ。

二〇一。ホーリー・ロードスの井戸の下

卷之三

卷之三十一

テオロギーの歴史、一九四〇年

向かひの年、及社会的外主義——

レーベンの系統的取扱いは、本邦の種々の現象に即合するものである。

卷之三

（江蘇省農業科學院土壤化驗站），1952年。

新田玉美、反春堂外玉美の丁口界

印加帝国人民の革命的活動——徹底運動

05) 1975年7月15日

4. 日升人久，名利退止。
口能口口口。

熱血のコマンド

明大レーニン主義研究会

1975.7.15